

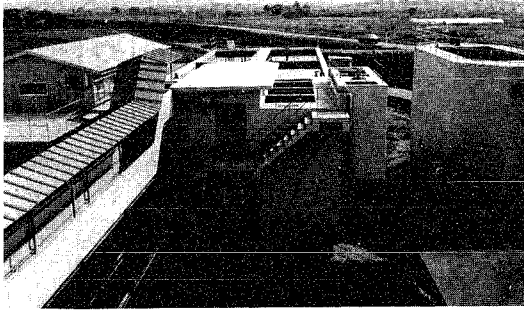
国民健康保険

平成四年度において、歳出面では主なものとして（対前年当初予算比）老人保健法及び診療報酬改定など合わせて全体で二・二六％の伸びと微増にとどまりました。

歳入面では一般会計より事務費一、八五九万五千円、助産費分二四〇万円等を繰入することで保険税の伸びを約〇・四五％減にもっていく努力を行い、平成四年度歳入歳出総額五億一、

五八六万七千円とし、今後一層国保の健全財政保持のため努力を重ねていきます。尚、三年度同様に、保険税負担の低所得層救済目的の保険基金安定制度では、国が、県と町がそれぞれ負担し、一般会計より合計で九二五万四千円を繰り入れました。

特別会計



国民健康保険

歳入 515,867千円	
国民健康保険税	234,796千円
国庫支出金	176,335千円
療養給付費交付金	70,411千円
繰入金	30,249千円
共同事業交付金	2,759千円
その他	1,317千円
歳出 515,867千円	
保険給付費	356,508千円
老人保険拠出金	118,699千円
総務費	23,232千円
共同事業拠出金	2,760千円
その他	14,668千円

老人保健

歳入 810,447千円	
支払基金交付金	566,531千円
国庫支出金	161,366千円
繰入金	42,231千円
県支出金	40,312千円
その他	7千円
歳出 810,447千円	
医療諸費	808,402千円
総務費	1,541千円
公債	500千円
その他	4千円

平成四年度の老人保健特別会計での医療費の占める割合は、総額八億八四〇万二千円となり〇・一％の微増となりました。この背景として、平成四年度からの老人保健法改正に伴い、医療費の費用負担の世代間における公平と、医療費の費用負担の世代間における公平と、医療費の財政負担の軽減等によるものです。この会計の、医療費負担割合は、支払基金七〇％、国庫

老人保健

支出金二〇％、県及び町がそれぞれ五％の負担をすることになっています。このように老人の健康管理、及び保健サービスなど、町、医療機関等のように対応していくかが当面の課題です。老人が在宅で安心して生活できるよう、高齢化社会対策を総合的に推進していくところです。

下水道

歳入 795,600千円	
町債	406,500千円
国庫・県支出金	171,100千円
繰入金	121,000千円
使用手数料	42,858千円
その他	54,142千円
歳出 795,600千円	
下水道事業費	521,896千円
公債費	201,373千円
総務費	72,231千円
予備費	100千円

ガス

事業収益 259,823千円	
ガス売上	247,340千円
営業雑収益	11,433千円
営業外収益	1,047千円
特別利益	3千円
事業費用 259,823千円	
営業費用	226,704千円
営業雑費用	11,432千円
営業外費用	21,684千円
特別損失	3千円

水道

事業収益 185,804千円	
営業収益	182,466千円
営業外収益	3,335千円
特別利益	3千円
事業費用 181,174千円	
営業費用	124,964千円
営業外費用	56,207千円
特別損失	3千円

下水道

本年度下水道事業は、小須戸第一分区（矢代田地区）の幹線管渠工事着手をし、併せて小須戸第二分区との接続に伴う、中継ポンプ場の築造工事の実施予定です。

公共下水道事業費は、前年度より二、六〇〇万円の増で三億三、四〇〇万円、単独事業費では、前年度より九〇〇万円の減として一億六、四〇〇万円を計上しました。その他は、流域下水道建設

負担金で一、〇二二万二千円、公債費で、元金四、一〇五万八千円利息で一億五、二八二万五千円を計上しました。

それらについての財源は、国庫補助金で一億六、七〇〇万円、町債で二億九、〇八〇万円、未稼働資産分（資本費平準化債）一億七二〇万円、流域下水道債八五〇万円を計上しました。

その他では、小須戸第一分区（矢代田地区）の受益者負担金を今年度より、徴収するため、一、九七四万七千円、下水道使用料で四、二八五万六千円を計上し、

ガス

一般会計からの繰入金一億二、一〇〇万円をもって、歳入歳出で、対前年度比九・六％増の七億九、五六〇万円となりました。

収益的収入では二億五、九八二万三千円、同支出では二億五、九八二万三千円を計上しました。収益的支出では、修繕費で、三、二二二万一千円（ガスホルダ開放検査（5kg/cm²）費用）一、八

水道

八七万（円）となりました。資本的支出では総額一億二、五九五万五千円を計上しましたが、主な事業としては、ガス管の布設工事と公共下水道工事に伴うガス管の支障移設工事として、九、五八二万九千円を計上しました。

収益的収入は一億八、五八〇万四千円となり、同支出では一億

八、一一七万四千円を計上しました。

支出では経常経費の増と減価償却費三、八八二万円、企業債利息五、六一八万二千円を計上しました。

資本的支出では、配水管布設工事のほか下水道工事に伴う水道管支障移設工事費、山の手送水ポンプ増設工事費、真空ポンプ設置工事費を計上した結果、総額では一億二、一〇〇万三千円となっています。